

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 17-024)

1 日本財団がパラオに供与する新しい巡視船「Kedam」が日本からパラオへ向け出港

[原文](#)

(8 December 2017, Island Times)

※会員限定のため全文は読めません。

2 マ・シ海峡においてインドネシア海軍の船艇が沈没

[原文](#)

(2 December 2017, maritimebulletin.net)

3 日中高級事務レベル海洋協議第8回会議が開催

[原文](#)

(4 December 2017, Global Times)

4 フィジーの大臣が、中国、日本、韓国の遠洋漁業船団により太平洋のマグロが捕獲され、地元の漁業が打撃を受けていると警告

[原文](#)

(5 December 2017, Undercurrent News)

5 韓国大統領が、太平洋島嶼国に自国との関係強化を呼びかけ

[原文](#)

(5 December 2017, Yonghap News)

6 パラオの裁判所が、パラオ政府がフィリピン漁船を提訴した訴訟を却下

[原文](#)

(5 December 2017, Island Times)

※会員限定のため全文は読めません。

7 アジア地域の今年10月までの海賊発生件数が過去10年間で最低に

[原文](#)

(5 December 2017, The Maritime Executive)

8 太平洋島嶼国がベトナムに同国漁船の密漁を防ぐ努力を求める

[原文](#)

(6 December 2017, Pacific Note)

9 専門家（笹川平和財団田中会長）によれば、原油需要のピークは 2030 年以前になる見込み

[原文](#)

(6 December 2017. Nikkei Asia)

10 台湾の研究所の研究者が、中国の観光政策（パラオ行きの旅行商品販売の禁止）はパラオに影響を及ぼさないとの予測を示す

[原文](#)

(6 December 2017. Radio New Zealand)